

薬物の誘いには、ハッキリとNO!

薬物を乱用するきっかけは「友人からの誘い」が多いということが報告されています。言葉で断れる場合は勇気をもって、ハッキリと断ることが大切です。

断りづらいときはとにかくその場から立ち去りましょう。立ち去ることも勇気です。

NO!



みんなやってるから大丈夫だよ

1回だけなら平気だよ

嫌なことが忘れられるよ

これをやれば、頭がさえて成績が上がるよ

「薬物乱用防止キャンペーン」in横浜
マスコットキャラクター のーどらくん

SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのが SNS です。SNS 上では薬物を意味する隠語や絵文字などが使われ、購入を促す内容が多く投稿されています。

SNS を通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。



ひとりで悩まず、相談を

薬物のことで困ったら...

ひとりで抱え込まないで、まずは、

身近な信頼できる人(大人)に、相談しましょう。

そのような人が身近にいない場合は、専門家に相談しましょう。

秘密は
守られます

◆横浜市こころの健康相談センター

TEL:045-671-4408

平日 8:45~17:00 (祝休日・年末年始除く)

あなたの気持ちや悩みに合った相談ができる窓口を探せます!

◆あなたはひとりじゃない

内閣官房 孤独・孤立対策担当室

もやもやを抜け出すための相談窓口をチャットボットで紹介します。



さらに詳しく知りたいときは...

◆薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」

ホームページ

<http://www.dapc.or.jp/>



◆あやしいヤクブツ連絡ネット

<https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp/>
(コールセンター)

TEL:03-5542-1865

月・水・金曜日(祝日を除く) 9:30~16:00



出典:「薬物のこと大麻のこと誤解すると危険です!」(厚生労働省)

「健康に生きようパート38」(厚生労働省)を加工して作成

横浜市医療局医療安全課 (令和8年3月作成)

横浜市中区本町 6-50-10

TEL:045-671-3876 FAX:045-663-7327

E-mail: ir-yakumu@city.yokohama.lg.jp

ダメじゃん!

薬物乱用

ドラッグ



薬物乱用ってなに?

「薬物乱用防止キャンペーン」in横浜
マスコットキャラクター のーどらくん

1度だけなら大丈夫?



(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター
「ダメ。くま」君

横浜市

薬物乱用とは？

薬物乱用とは、決められたルールを守らないで、薬物を使用することです。医薬品についても「病気や傷の治療に使う」といった本来の目的以外に使えば薬物乱用となります。

このような目的で使用した場合、たとえ1度使用しただけでも、薬物乱用にあたります。

1度だけでもダメなんだ！

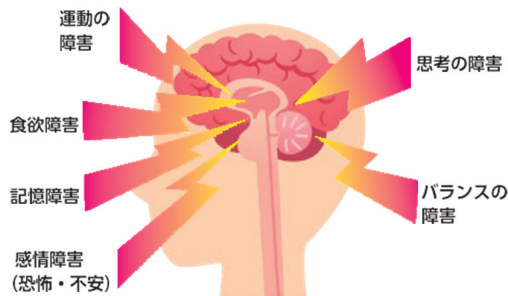


(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター
「ダメ。くま」君

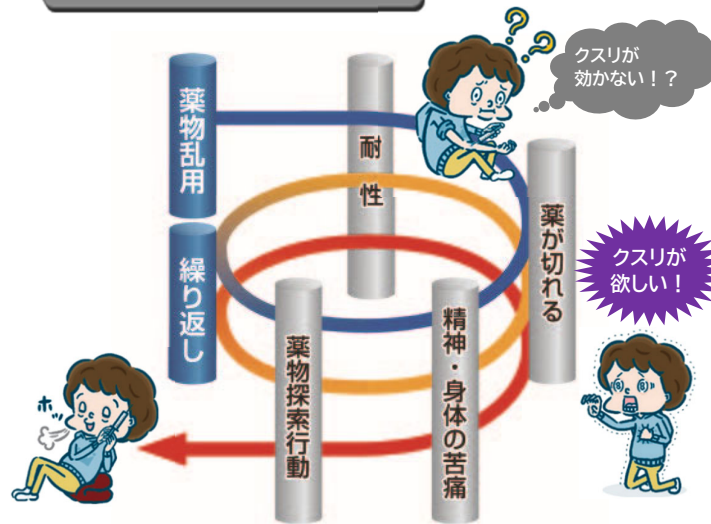
薬物乱用をするとどうなるの？

薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続けられるなかで様々な障害を引き起こします。そして、一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態に戻すのは非常に困難です。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害



薬物依存のサイクル

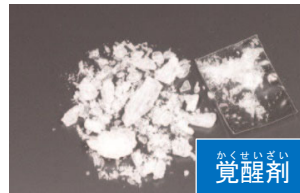


乱用される代表的な薬物



大麻

別名：ハッピー、チョコ等



覚醒剤

別名：スピード、シャブ等



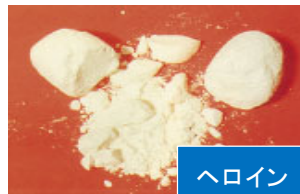
コカイン

別名：コーク、スノウ等



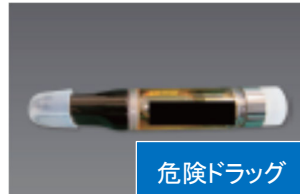
MDMA

別名：エクスタシー、パツ等



ヘロイン

別名：ペー、チャイナホワイト等



危険ドラッグ

別名：ハーブ、アロマ等

大麻は危険な薬物です！

インターネット等で、大麻は「身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。

また、大麻はうつ病や記憶の障害も引き起こします。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう！



大麻クッキー



大麻チョコ

オーバードーズとは？

市販薬を一度に大量に服用する、オーバードーズ (OD) と呼ばれる行為が、近年一部の青少年の間で広がっています。危険な行為なので、絶対にはいけません。

市販薬には様々な成分が含まれており、ODすることでその中のいくつかの成分が致死量を超えてしまうこともあります。また、様々な成分による複合的な作用により、中毒症状の治療が困難になることもあり、大変危険です。

医薬品は用法用量を守り、適切に使用しましょう。



医薬品

出典：「薬物のこと大麻のこと誤解していると危険です！」(厚生労働省)
「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」(厚生労働省)
「健康に生きようパート 38」(厚生労働省)を加工して作成